

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

英国最大級の日本文化イベント「HYPER JAPAN」で地域の魅力を PR

7月15日から17日にかけて、ロンドン市内で10回目となる「HYPER JAPAN」が開催され、若者を中心とした多くの人で賑わいました。アニメやゲーム、ファッションなどのポップカルチャーのブースやJ-POPのステージは大変な盛り上がりで、日本酒や日本食のエリアにも長蛇の列ができていました。

ロンドン事務所では、自治体から提供されたポスターやパンフレット、PRグッズを使いながら、日本の地域の観光情報を提供しました。来場者からは、桜や盆栽を觀賞するために適した時期や場所、移動手段についての質問が寄せられたほか、観光パンフレットだけではなく、留学生誘致のパンフレットを手取る様子も見られました。



シドニー事務所

JETAA・NSW が総領事表彰を受賞

7月19日、在シドニー総領事公邸において、渡日を目前に控えた新規JETプログラム参加者の壮行会が行われました。高岡総領事から約40名の新規参加者へ激励の言葉が贈られ、新規参加者からは日本語も交えた決意表明がされました。また、JETプログラム30周年を記念して、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のJETプログラム同窓会(JETAA・NSW)に対して、これまでの日豪間の友好親善への寄与について表彰状が授与されました。今後もJETプログラムを通じた日豪交流の更なる発展が期待されています。



事務所公式 Facebook 開設!

ホームページだけでなく、Facebookにおいても事務所の活動の様子やオーストラリア・ニュージーランドにおける日本の地方自治体の活動などの情報を発信しています。Facebookページに「いいね!」をしていただくと、新しい投稿をニュースフィードですぐに読むことができます。(http://www.facebook.com/clair.syd)



パリ事務所

C'est bon le Japon !

6月24日から26日まで、パリの中心部マレ地区にて日本の食文化と観光をPRするイベント「第3回 C'est bon le Japon!」が開催され、会場には3日間で約13,000人が訪れました。パリ事務所はブースを設置し、日本の自治体のPRを行いました。

今年は日本食、食に関する工芸品に加え、和包丁、日本酒のエリアが設置され、現地の日本食惣菜店や雑貨屋などとともに、堺市と広島県日本酒レップ事務所が出展し、堺市は刃物・伝統品の販売を、広島県は日本酒の試飲・販売を行いました。ステージおよびブースで行われた堺の研ぎ職人による包丁研ぎの実演には大勢が見入っていました。

また、元JET参加者も参加しているパリ三線クラブが演奏を行い、会場を盛り上げました。



ニューヨーク事務所

全米各地で新規JET参加者出発前レセプション開催

7月下旬から全米各地の大使館・総領事館で、新たにJETプログラムに参加する方を対象に出発前レセプションが行われ、当事務所から所長や担当職員がニューヨーク、ワシントンDC、ロサンゼルスでのレセプションに参加しました。ニューヨークでは高橋礼一郎総領事・大使が、JET参加者が日本の国際化のために活躍するとともに、同プログラムを通して参加者自身の人生が豊かになることを期待する旨の挨拶をされるなど、参加者を激励しました。今年度米国からは、新規JET参加者の半数以上にのぼる1,081名が赴任予定。各地のレセプションにはJETAAのメンバーもボランティアとして参加し、新規JET参加者と経験談を共有したり、互いの連絡先を交換したりするなどの交流も見られました。





北京事務所

在中国の自治体事務所が意見交換

7月21日、陝西省安康市で「在中国自治体事務所連絡会議」が開催されました。この会議は、クレアが主催する「日中地域間交流推進セミナー」に合わせて毎年1回開催されているもので、中国各地の自治体事務所が一堂に会し、各事務所が抱える課題について意見を交わす貴重な場となっています。

今年の会議には、上海から17自治体、大連から4自治体、北京から3自治体、香港から1自治体、湖南省から1自治体ののべ26自治体に加え、在中国日本国大使館、クレア北京事務所が参加。経費抑制の取り組み、為替リスクへの対策、地元産品の販促や観光誘客に向けた効果的なPR方法などについて、活発な議論が行われました。



シンガポール事務所

「World Cities Summit 2016」に 陸前高田市長と福岡市長が登壇

7月10日から14日にかけてシンガポールで開催された上記会議のテーマ別分科会（強靱な都市やコミュニティの構築）に戸羽太 陸前高田市長と高島宗一郎 福岡市長が登壇しました。陸前高田市長は東日本大震災の教訓を活かした災害に強いまちづくりの、福岡市長は熊本地震への対応における市民参画・都市間連携の各事例を紹介し、世界100都市以上の参加者が集まる国際舞台において力強くアピールしました。



ソウル事務所

JETAA 大韓民国支部が熊本地震義援金を 在韓日本国大使館に託す

6月30日、JETAA 大韓民国支部が、熊本地震の支援のために会員を中心に募った義援金の伝達のため、在韓日本国大使館を訪問しました。JETプログラムを通じて育んだ日韓の絆を大切に、日本への応援の気持ちを届けたいとする同支部の思いを受け、鈴木秀生臨時代理大使からは感謝の意が伝えられると共に、日韓友好の懸け橋としてのますますの活躍に期待が寄せられました。



市民国際プラザ

第19回自治体とNGO/NPOの 連携推進セミナーを開催しました！

7月22日、第19回自治体とNGO/NPOの連携推進セミナー「『多文化共生×国際協力×防災』が生む地域ブランド化と発信力～マルチステークホルダー連携で災害に強いコミュニティ形成を目指す～」を開催しました。当日は、「国際基準から考える災害対応における連携・協働の進め方」についてJQAN事務局長 松尾様よりご講演頂き、グループワークを実施しました。セミナー当日の様子につきましては、HPにも掲載致します！

市民国際プラザHP：<http://www.plaza-clair.jp/>

交流親善課

海外自治体幹部交流協力セミナーを 実施しました！

フランスの自治体幹部4名を迎え、7月18日から28日までの行程で山形県鶴岡市において「地方都市における文化・観光資源を活用した地域活性化の取り組み」をテーマに、視察などを実施しました。意見交換会では、参加者から、鶴岡市の観光設備、受入環境などのインバウンド施策に対し、フランスでの取り組みを交えながらアドバイスがなされ、鶴岡市からは、「期待以上にすばらしい意見と提案が聞けた」との感想をいただきました。

経済交流課

自治体のインバウンド成功事例を 絶賛紹介中！

当協会では、全国の自治体が行う観光インバウンド事業を中心に、成功事例や現場の課題などを、「Clair Inbound Library」というWebサイトで紹介しています。（<http://clair-inbound.net/>）

これまで40以上の記事を掲載し、Webサイトの更新にあわせてメールマガジンも配信しています。是非、一度ご覧ください！



■お問い合わせ 経済交流課

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp

JET 事業部

平成28年度JETAA国内支部役員との 意見交換会を開催しました！

7月11日、JETAA国内支部役員・三省（総務省、外務省、文部科学省）・クレアの意見交換会が開催されました。この意見交換会は、JETAAの日本国内3支部の役員と三省・クレアが最新の情報などを共有し、JETプログラムのさらなる発展に向けて連携を強化することを目的としています。今回、各支部の活動報告やクレアからJET30周年記念事業の紹介が行われた後、JETAAのネットワーク強化や現役JETへの就職支援策などについて活発な議論が行われ、実り多い会となりました。

※JETAA（JET Alumni Association）は元JET参加者の同窓会組織で、現在、世界15か国に52の支部があります。